

開校 200 年に向けて「其の根を培う」



今の小学生が還暦近くになる頃、赤江小は開校 200 年を迎えます。

激しく変化し予測不能と言われる現代社会。50 年後はどのようなになっているのでしょうか。きっと大きく変わっていることと思います。

赤江小学校の玄関には、「其の根を培う」と書かれた額が掲げられています。この額は、今からおよそ 140 年前の明治 14 年に、当時の 堀 実

校長先生がお書きになったものです。校舎が変わってもこの額は掲げられ続け、今の校舎が完成した際、木造校舎の玄関から移されました。この言葉には、「赤江に育つ子どもたちに、自分の根となるところをしっかりと培い、強くたくましく生きてほしい」という願望が込められていると思っています。

根をしっかりと培えば、どのように社会が変化しようとも自らの力を発揮することができます。赤江小学校の永遠の校是として伝えられているこの言葉は、明治、大正、昭和、平成、令和へと時代が移っても変わらぬ光を放ち続けています。これからも大事にしていきたい言葉です。

この先も赤江の子どもたちが自らの根をしっかりと培い、思う存分、社会で活躍することを、そして、赤江小学校が地域とともにあり続け、開校 200 年を迎えることを願っています。(校長 難波真章)

